

いわき市立桶売小学校「学校だより」



令和3年2月19日(金) 第49号 (発行者 校長 遠藤 修)

<教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)



<校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。

新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力ください

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準にもとづく感染予防

保護者の皆様におかれましては毎日のご家族の健康観察や児童の検温等、新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力くださいまして、ありがとうございます。

さて、先日マチコミのメールでお知らせしましたが、福島県の緊急対策期間が2月14日で終了したことに伴い、「新しい生活様式」をふまえた学校の行動基準に基づく対応レベルを1段階低いものに移行することになりました。

これにより、本校では、21日までを移行期間とし、理科の実験や調理実習などのグループ活動や、室内でのリコーダー演奏、歌唱といった比較的感染リスクが高いといわれる学習活動も適切な感染症対策を行った上で順次再開することいたしました。

感染状況は一定の落ち着きをみせているものの、まだまだ油断できない状況にあります。ご家庭においても、引き続き感染予防に努めていただきたいと思います。

児童に発熱等の風邪の症状が見られる場合は、無理をさせず、登校を控えるようお願いいたします。その他、ご家族の健康状態等の理由で児童の登校について不安を感じられる場合は、遠慮なく学校にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために

新しい生活様式

を実践しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、今後長い期間の対策が必要です。そのために、私たち新しい生活様式の定着に向けて様々な取組に取り組んでいます。

私たちは下記の行動を実践しています。

- マスクの着用
- 手洗いの徹底
- 消毒薬の設置
- 消毒・洗浄
- 健康管理の徹底
- 3密の回避
- 換気の徹底
- 距離を取る
- 正面は避ける
- 会話控えめに
- パートナーや仕切りの設置
- オンライン授業の推進
- 料理の個別提供
- 検閲を減らす
- ガイドラインの活用徹底

いわき市立桶売小学校

川前地区防犯標語



2月16日(火)、川前地区防犯協会長の吉田さんと川前支所の根本さんが来校し、川前地区防犯標語に参加した子ども達に参加記念品を届けてくださいました。

子ども達は、7月に依頼を受け、家庭で相談しながら真剣に標語を考えていました。1人2点ずつ応募した標語は、今年のうちに地域の皆さんに回覧・配布されています。

どの標語も、大変子どもらしい言葉で、今問題になっている振り込め詐欺や空き巣について注意を呼び掛けたものでした。参加を通して、子ども達の防犯意識や、地域貢献への意欲が高まることを期待しています。

また、子ども達の声が、少しでも地域の皆様の心にとまり、防犯活動にお役に立てたなら大変嬉しく思います。

※ 紙面の関係で一部になってしまいますが、子ども達の標語をご紹介します。



令和2年度 川前地区標語(抜粋)

- かぎかけた? もういちどかくにん よろしくね (1年 W. A)
- ふりこみは 知らない人には しないでね (4年 T. S)
- 田舎でも ゆだんせずに 気をつけよ (6年 S. H)
- サギ防止 親子で決めよう あい言葉 (6年 T. S)

リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.090 μSV/h 2/19 8:20

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

